

ふくしま農業女子ネットワーク 農女びより



湯川村産コシヒカリを100%使った「ゆがわのもち便り」を作る坂内さん

◆ふくしま農業女子ネットワーク（愛称：百笑一姫♡Fukuがある）農業女子同士の交流・連携を深め、技術の向上を図ろうと、県内の女性就農者や就農希望者65人で構成。福島民報社をはじめ、県内の30企業・団体が「応援団」として登録している。農産品を使っ

た加工品の共同開発や情報発信、経営力向上、販路拡大などに連携して取り組む。メンバー、応援団となる企業・団体を随時募集している。URLは<https://www.fuku-girl.jp/> 問い合わせは事務局 県農業担い手課 電話024(521)7340へ。



坂内 裕子さん（湯川村）

湯川産米で柔らかか餅

「今、必死に生きているの」なんて、68歳の私が言ったら、「どんな毎日を過ごしているの?」と聞かれそうですが、確かに毎日懸命に動き回っている気がします。

約半世紀前、結婚を機に湯川村の葉タバコとコメ農家の一員となりました。葉タバコは東日本大震災後は生産できず、がんを患っていた夫の闘病もあり、廃作。6年前に夫が他界してからは仲間に支えられながら稲作を頑張っています。

昨年の夏は、わが家の一部を食品加工室として改修し、湯川村産コシヒカリを100%使った餅を作っています。一度、ご飯に炊いてから作る餅は柔らかく、ふわふわ、ツルツ

ルの食感が特長です。子どもからお年寄りまで安心して食べてもらいたいと願いを込めています。

モモ農家に生まれた私は、子どもの頃から果物や野菜は自分の畑で作って食べるものと思っていて、一生そういう生き方をしたいと考えてきました。結婚後も農家として自然と向き合う暮らしを続けてこられたのは幸せなこと。先日、夫の七回忌を終え、今は健康で、卒寿を迎えた義母と二人暮らし。義母が作ってくれるおいしい野菜を食す毎日を過ごしています。

今年から、ふくしま農業女子ネットワークに参加しました。メンバーの皆さんの「農女パワー」には驚き

と、何とも言えないうれしさを感じています。きっと、自分の若かりし頃を懐かしく思い出したからだと思います。昔も今も、農家の担い手不足は深刻ですが、農業を頑張る若い人たちがたくさんいます。大変なこともありますが、これからも前向きに「会津の農女」として生きていきたいと思っています。

☑プロフィール☑ 桑折町出身。結婚を機に湯川村に移り、葉タバコ、コメの栽培に携わる。現在は「コシヒカリ30%」のつづ50%を栽培。2018年夏に農産物加工室「羽二重工房」を設け、コシヒカリ100%の餅「ゆがわのもち便り」などを商品化。「アグリ・ママ」の名前で、道の駅あいづ湯川・会津坂下や、JA会津よつばの直売所「まんまーじゃ」などで販売している。